

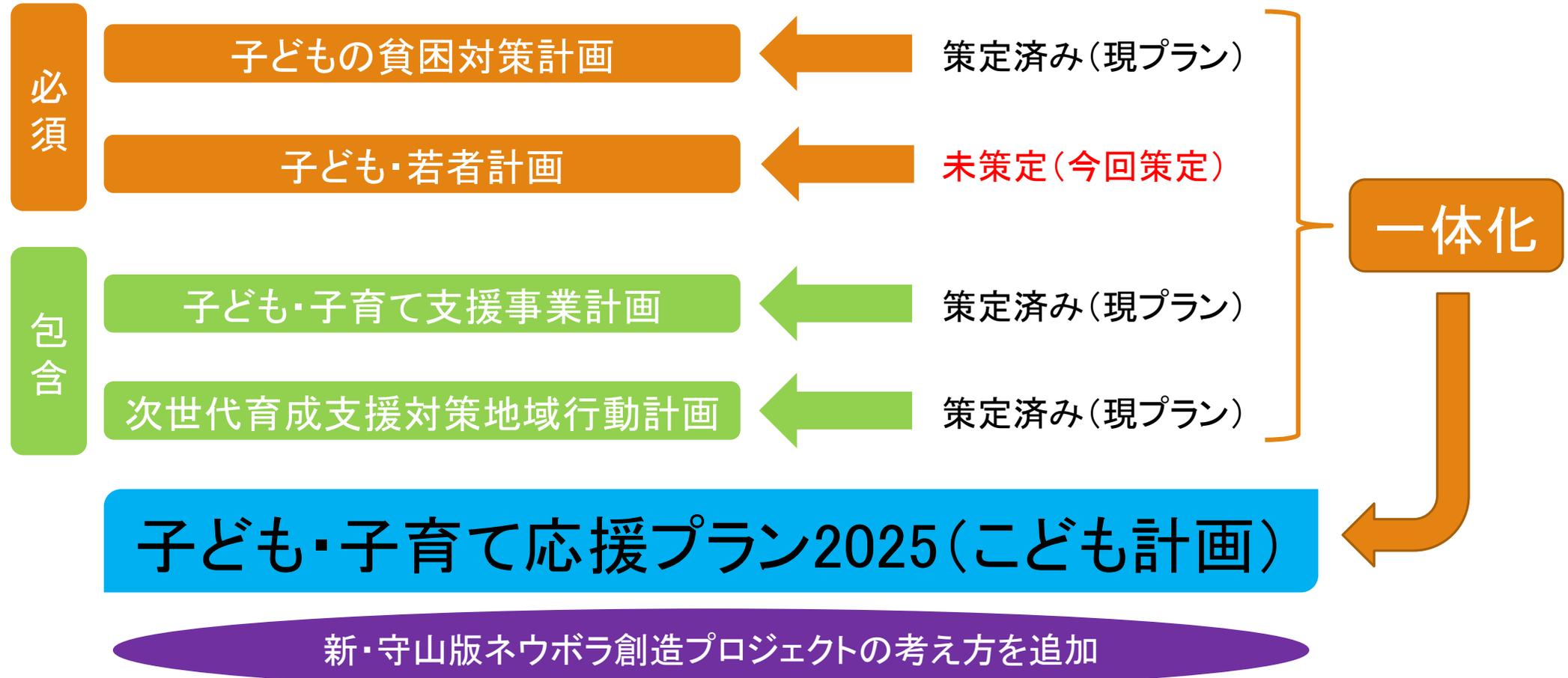
令和6年度第1回 子ども・子育て会議

令和6年5月22日 午後7時から
市役所2階 防災会議室

次期「子ども・子育て応援プラン」の策定について

- ① 本市では、「親子の笑顔が輝く街づくり～地域の「わ」で親子の笑顔をつなぐ守山～」を基本理念とし、「守山市子ども・子育て応援プラン」を策定してきました。
- ② 令和7年度から三期目となる次期プラン策定については、国が策定したこども施策を総合的に推進するための基本的な方針、重要事項を定めた「こども大綱(令和5年12月策定)」を勘案し、新たに、「子ども・若者計画」を包含した「(新)こども計画」とします。
- ③ 就学前の子どもの教育・保育の総合的な提供をはじめ、すべての子どもと子育て家庭への支援の充実、全ての子ども・若者の健やかな育成など、包括的に子ども・子育て・若者支援に取り組む指針として、次期「守山市子ども・子育て応援プラン2025」を策定します。

守山市のこども計画について



【参考】こども基本法には・・・

第3条第3項

全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会活動に参画する機会が確保されること。

第11条

国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

★年齢に応じた「社会参画機会の確保」と「意見聴取」の義務化

【参考】こども施策に関する基本的な方針

柱1

こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る

柱2

こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく

柱3

こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する

柱4

良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする

柱5

若い世代の生活基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路の打破に取り組む

柱6

施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する

プラン概要

- ① 計画名称 守山市子ども・子育て応援プラン2025
- ② 計画期間 令和7年度から令和11年度までの5年間
- ③ 構成(案)
 - ア 子ども・子育て支援に関する制度の概要
 - イ アンケート結果等からの守山市の子ども・家庭・地域の状況
 - ウ 計画の基本的な考え方、理念等
 - エ 子ども・子育て・若者支援に関する施策の概要
 - オ 各事業の概要、見込み量、事業量確保方策
 - カ 各事業の推進体制、評価指標

策定の方針等

検討の視点

- ・国の制度改革等の反映(こども大綱、こども誰でも通園制度 等)
- ・最新の統計値等による保育ニーズ量と確保方策等
- ・他の計画との整合

現行プランにおける教育・保育の見込数と確保指針(進捗状況)

認定区分 (年齢)		実績 (4月1日) (人)				
		R2	R3	R4	R5	R6
0歳、保育必要 (3号認定)	見込量	109	108	133	147	156
	申込者数 (実績)	109	108	133	133	109
	受入枠	169	188	188	188	193
1・2歳、保育必要 (3号認定)	見込量	845	842	879	878	898
	申込者数 (実績)	845	842	879	906	967
	受入枠	722	800	808	808	872
3～5歳、保育必要 (2号認定)	見込量	1,384	1,442	1,501	1,437	1,452
	申込者数 (実績)	1,384	1,442	1,501	1,533	1,493
	受入枠	1420	1,498	1,550	1,550	1,550

子ども・子育て応援プラン」の策定について2020に基づき、保育施設等の整備を進めました

【各年度の保育所実績等】

- 令和3年度
小規模保育所5か所(95人)の開設の開設
守山幼稚園を認定こども園化(80人)
- 令和4年度
洛和みずのさと保育園の開設(60人)
- 令和6年度
よしみ乳児保育園(55人)
小規模保育所1か所(19人)の開設

子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果

※分析結果は別紙1、調査結果報告書は別紙2

(1) 調査概要

項目	就学前子ども保護者調査	小学生保護者調査
調査対象	守山市在住の就学前の子どもを持つ保護者2,000人	守山市在住の小学生の子どもを持つ保護者1,000人
抽出方法	令和5年4月1日現在の住民基本台帳を基に子どもの年齢構成別に抽出	
調査方法	配布:郵送 回収:WEBおよび郵送	
調査期間	令和5年12月13日(水)から令和6年1月9日(火)まで ※1月末までWEB、郵送により回答いただいた分まで反映	

(2) 調査結果

項目	就学前子ども保護者調査	小学生保護者調査
回収状況	回収数:848件 (内訳)紙:647件、WEB:201件 回収率:42.4%(前回:46.0%)	回収数:443件 (内訳)紙:309件、WEB:134件 回収率:44.3%(前回:44.7%)
主な分析	<ul style="list-style-type: none">・フルタイムで就労する母親が増加している(子育てと仕事の両立)・早期に就労したい母親が増加(母就労意欲の増加)・子育ての相談できる人がいる割合が減少し、誰に子育て相談をしてい いかわからない人が増加している(支援の必要性の増加)	<ul style="list-style-type: none">・フルタイムで就労する母親が増加している(子育てと仕事の両立)・放課後児童クラブの利用割合、利用ニーズが増加(両親の共働き、安 心な居場所のニーズ増)

子どもの意見聴取について

調査名	子どもの意見聴取
実施理由	子どもに関する施策の策定にあたり、当事者である子どもの意見を聞く必要があるため、アンケートを実施します。
調査対象	市内小学校5年生および中学2年生
調査方法	ChromeBookにてアンケート実施
調査実施時期	令和6年6月
主な聴取内容	以下の内容など10問程度を質問項目とします。 <ul style="list-style-type: none">・自分の「思い」や「希望」などを言葉にして直接相手に言うことができますか。・相手が誰であれば言いやすいですか。・自分の思っていることをいうとき、どうゆう方法ならいいやすいですか。

プラン策定のスケジュール

	行程	庁内推進会議	子ども・子育て会議	議会
R6. 4月	現行プラン実績とりまとめ等			
5月		現行プラン実績、ニーズ調査等分析結果報告	現行プラン実績、ニーズ調査等分析結果報告	
6月				現行プラン実績、ニーズ調査等分析結果報告
7月	骨子案作成			
8月		プラン骨子案協議	プラン骨子案協議	
9月				プラン骨子案協議
10月		プラン原案作成		
11月		プラン原案、パブリックコメント実施説明	プラン原案、パブリックコメント実施説明	
12月				プラン原案、パブリックコメント実施説明
R7. 1月	パブリックコメント			
2月	最終案作成	パブリックコメント結果報告、プラン案報告	パブリックコメント結果報告、プラン案報告	
3月				パブリックコメント結果報告、プラン案報告
4月	次期プラン施行			

【会議から議会までの流れ】

- 子ども・子育て会議は4回実施予定(今回1回目)
- 各行程での協議等は以下の流れで進めます
 庁内推進会議 ⇒ 子ども・子育て会議 ⇒ 議会

【今後の子ども・会議について】

第2回(8月) プラン骨子案協議

次期プランの課題、基本目標設定、骨子案協議等

第3回(11月) プラン原案、パブリックコメント実施説明

プラン全体の内容精査、事業量見込の確認
 パブリックコメント実施方法の共有

第4回(2月) パブリックコメント実施報告、プラン案報告

パブリックコメントでいただいた意見の報告と
 意見のプランへの反映等について説明
 プラン最終案の確定

現行プランの成果等

各計画における目標値の達成状況

5つの基本目標について、3段階評価を実施した結果、「B 課題はあるが概ね目標通り」、「C 課題があり見直し等が必要」が半数以上を占める結果となりました。今後、個別ヒアリングの実施によりBおよびC評価をした事業の次期プランにおける課題解決方針等設定と、「A 目標通り」の評価をした事業の継続実施やさらなるステップアップの必要性等の課題の掘り起こしを行い、次の目標と骨子案をまとめます。

評価区分	1 社会全体で子育てを支えるネットワークづくり	2 愛情とゆとりある家庭を育む環境づくり	3 のびのびと遊び行動できる地域づくり	4 健やかな育ちを支援する保健・医療・福祉の充実	5 夢を持って心豊かに育つことのできる教育・保育の充実	全体
A 目標通り	23 (47.9%)	16 (45.7%)	14 (42.4%)	51 (56.7%)	21 (39.6%)	125 (48.3%)
B 課題はあるが概ね目標通り	23 (47.9%)	18 (51.4%)	16 (48.5%)	36 (40.0%)	29 (54.7%)	122 (47.1%)
C 課題があり見直し等が必要	2 (4.2%)	1 (2.9%)	3 (9.1%)	3 (3.3%)	3 (5.7%)	12 (4.6%)
合計	48 (100.0%)	35 (100.0%)	33 (100.0%)	90 (100.0%)	53 (100.0%)	259 (100.0%)

目標1 社会全体で子育てを支えるネットワークづくり

主な取組の成果	課題	今後の方向性
<p>●新生児・妊産婦訪問 R5.2から開始した「出産・子育て応援交付金」を活用することで、新生児訪問の受け入れ状況が改善。8か月アンケートの結果から、ハイリスク以外の妊婦についても状況を把握し、適切な指導ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネウボラ面接 (R2:829件、R3:872件、R4:788件、R5:741件) ・新生児訪問率 (R2:95.7%、R3:96.7%、R4:96.7%、R5:100%) 	<p>目標通り事業が実施できているが、育児に参加する父親に対する不安等の解消ニーズが出てきた。</p>	<p>父親の育児休暇取得率の増加に伴い、母親だけでなく、父親の育児に対する不安解消のニーズにも対応。</p>
<p>●産後ケア事業 利用対象者を産後3か月以内から1年以内に拡充した。また、R6から全員を対象とした減免制度を開始し、実質的な自己負担額を宿泊1回 3,500円、デイ1回500円、訪問1回300円にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> R2：利用者数 4人 件数4件(延) R3：利用者数 5人 件数9件(延) R4：利用者数15人 件数22件(延) 	<p>事業委託先が増加したものの、安定した利用環境を提供していく必要。</p>	<p>委託事業者との連携強化によるサービスを利用できる環境の維持、利用要件の柔軟な対応。</p>
<p>●子育て援助活動支援事業 ファミリー・サポート・センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延利用（人日） R2 R3 R4 R5 実績 1,358 1,978 2,408 2,278 ・会員数（人） R2 R3 R4 R5 実績 791 680 733 711 ※まかせて会員 	<p>まかせて会員の会員数が変わらない中、活動件数は毎年度2,000件前後あることから、会員の年齢層などから今後の事業継続に向けた会員数確保計画を検討していく必要。</p>	<p>事業に対するニーズがあるため、継続実施する中、まかせて会員確保に向けた方策を検討。</p>
<p>●適応指導教室「くすのき教室」、教育相談 不登校をはじめ学校に行きにくい児童生徒を対象に、教育相談および小集団活動を実施することにより社会的自立を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> R3：12人 うち小学生4人（1人）、中学生 8人（5人） R4：13人 うち小学生5人（2人）、中学生 8人（4人） R5：17人 うち小学生5人（3人）、中学生12人（7人） <p>※終了した中学生は全日制高校や通信制高校に進学</p>	<p>児童生徒の自己理解、自己表現、自己決定の苦手さや、よりよい人間づくり、くすのき教室の学校的な雰囲気改善等が課題。</p>	<p>1人1人の活動と集団の活動を充実させ、くすのき教室のレイアウト変更などにより充実した環境を整備する。</p>

目標2 愛情とゆとりある家庭を育む環境づくり

主な取組の成果	課題	今後の方向性
<p>●育児休業制度の普及・啓発と取得促進に向けた働きかけ 守山市企業内人権推進協議会による各研修や、市職員による夏季企業訪問（約130社）にて働き方改革、女性の活躍推進、男性の育児休業取得などの広報資料を配布し、効果的な啓発活動が実施できた。</p>	<p>県内において育児休業制度の導入率は、30人以上の事業所であれば96.0%と高いが、10人以上30人未満の小規模事業所であれば近年上昇傾向にあるが、85.0%と低い状況。また、男女別の取得率で見ると男性の取得率が、近年上昇傾向にあるが、女性の取得率に対しまだ低い状況。</p>	<p>小規模事業者など、取得率の低い事業所等への啓発を強化していく。</p>
<p>●妊婦健康診査の公費負担の充実 R6より、基本受診券の上限額増額（3,300円→5,000円）や、多胎児妊婦に超音波検査受診券追加（2枚）交付等により、さらなる受診の促進を行った。 ・妊婦健診受診件数（延べ件数・実人数） R2：8,724件（1,179人）、R3：9,345件（1,258人） R4：9,223件（1,228人）、R5：7,970件（1,079人）</p>	<p>すべての妊婦が積極的に健診を受診するよう、助成情報や健診の重要性の周知を強化していく必要。</p>	<p>R6より公費負担が増加したことなどを広く周知し、経済的に苦しい状況にある妊婦に対しても健診受診を促していく。</p>
<p>●返還免除型奨学金の新設 大学等に通う経済的な負担を軽減するため、国の給付型奨学金を受けている人で卒業後の市内居住等の要件を満たす人を対象に、返還免除型奨学金の支給を開始した。 R4：貸与人数19名、貸与額6,660千円 R5：貸与人数2名、貸与額 360千円</p>	<p>貸与者の返済免除要件の確認等、貸与者の状況管理を適切に行っていくことが必要。</p>	<p>貸与者の返済免除要件の確認等、貸与者の状況管理を適切に実施する。制度の周知による利用促進。</p>
<p>●こども医療費助成の拡充 入院 H25.10月 小1～中3まで全額助成 R6. 4月 高1～高3まで助成拡大 通院 R2.10月 小1～小3まで助成開始 R4.10月 小4～小6まで助成拡大 R5.10月 中1～中3まで助成拡大 R6. 4月 高1～高3まで助成拡大</p>	<p>助成制度の円滑な実施。</p>	<p>子育て支援として引き続き継続実施していく。</p>

目標3 のびのびと遊び行動できる地域づくり

主な取組の成果	課題	今後の方向性
<p>●児童館事業 ※事業を一部抜粋 事業内容：ひよこクラブ 対象者：未就園児（1～3歳児）と保護者 人数： R2：延べ947人 R3：延べ1,249人 R4：延べ1,368人 事業内容：キッズ広場 対象者：未就園児と保護者、小学生 人数： R2：延べ359人 R3：延べ439人 R4：延べ484人 事業内容：中高生の居場所作り 対象者：中高生 人数： R2：延べ4人 R3：延べ5人 R4：延べ12人</p> <p>●大型児童センター事業（ほほえみセンター） 事業内容 サロン（就学前の乳幼児親子） 人数： R2：延べ13,247人 R3：延べ13,045人 R4：延べ16,638人 R5：延べ20,758人 フレンズ（小学生以上） 人数： R2：延べ 3,089人 R3：延べ 3,737人 R4：延べ 5,120人 R5：延べ 6,641人</p>	<p>【児童館事業】 自由来館が少ない</p> <p>【大型児童センター】 利用年齢を時間で分けていることから、利用したいに利用のしづらい状況となっている。</p>	<p>児童館機能の利用状況を鑑みながら、各種児童館事業内容の見直しを行う。</p>
<p>●公園の管理 遊具設置基準に満たない遊具の撤去・改修・更新を行い、子供たちが安全に利用できる公園づくりを行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園数 <ul style="list-style-type: none"> R2：18箇所 R3：18箇所 ※都市公園はおもにえんまどう公園、エコパークなど R4：19箇所 R5：19箇所 ※参考 平成30年度 18箇所、13.10㎡ ・小公園・緑地 <ul style="list-style-type: none"> R2：316箇所、R3：322箇所、R4：327箇所 R5：330箇所 ※参考 平成30年度 306箇所 	<p>遊具の安全基準を満たすため、定期的な遊具点検と修繕が必要。</p>	<p>定期的な遊具点検と修繕を計画的に実施していく。</p>

目標4 健やかな育ちを支援する保健・医療・福祉の充実

主な取組の成果	課題	今後の方向性
<p>●産婦健康診査（R5より開始） 産後うつや新生児への虐待予防等を図るため、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査にかかる費用を助成（5,000円）することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行った。 R5：568件</p>	<p>ハイリスク産婦やハイリスク児については病院より早期の情報提供が行われており、保健師・助産師が訪問等での状況確認を行いフォローを実施しているが、精神疾患の治療が必要な母に対し、医療側の状況により早期に治療へつなげられないケースが多い。</p>	<p>ハイリスク対象者の早期発見、早期対応のためにも産婦の全件受診を目指し、今後も必要な助成を行うとともに、医療機関と連携を密にし適切なフォローを行っていく。</p>
<p>●発達支援事業 発達相談、訪問相談、就労相談など、乳幼児期から青年・成人期に相談に対応した。合わせて訪問相談や研修会を開催し、校園職員の支援スキルの向上を図り、また相談者のニーズに応じて関係機関と連携した。 ・発達相談件数 R2：665件、R3：814件、R4：714件、R5：728件 ・訪問相談件数 R2：78件、R3：69件、R4：78件、R5：74件</p>	<p>相談件数が増加傾向であり、相談対応体制の強化。 出口支援などの課題。</p>	<p>発達支援システムに基づき、福祉・教育・保健・就労などの関係課、関係機関と連携した支援の継続により、適切な相談対応と、出口支援を実施していく。</p>
<p>●子どもの学習・生活支援事業 生活困窮世帯や、ひとり親世帯等の子ども（小学生・中学生・高校生）の学習支援事業に取り組みます。貧困の連鎖を断ち切るため、基礎的な学力の向上と、基本的な生活習慣および社会性の育成を目的として継続的課題のある世帯や不登校など困難な状況にある子ども対象 登録者数：R2…15人 R3…15人 R4…15人 R5…16人</p>	<p>経済的な要因以外で、基本的な生活習慣の習得や学習支援等を行う居場所の確保が課題。</p>	<p>R5年度まで自主事業として、事業委託団体が、経済的な要因以外に課題のある児童を含め、支援を実施してきた実績をベースに、R6年度からは事業の対象者を拡充するとともに、児童の居場所としての機能を担う。事業名称を「こどもの居場所・学習支援事業」に改める。</p>

目標5 夢を持って心豊かに育つことのできる教育・保育の充実

主な取組の成果	課題	今後の方向性
<p>●幼稚園・こども園未就園児交流事業 令和2年度から令和4年度はコロナ禍のため、感染症対策をして開催。 （公立園の実績のみ） R2：129回、R3：142回、R4：139回、R5：305回（幼稚園魅力向上として保育室開放） 主な実施内容 ふれあい遊び・制作遊び・運動遊び・季節の遊び ・未就園児事業を中心に、保護者との信頼関係を構築し、子育てや入園等に関する相談を積極的に受けた。</p>	<p>各園の現状、課題に合わせて主幹・預かり主任を中心に支援事業を行っているが、在園児の保育、特別支援に関する業務が増加し、未就園児事業にかかわる時間の確保が大きな課題</p>	<p>幼稚園の魅力向上にもつながるよう、職員間で連携を取りながら充実した内容を検討していく</p>
<p>●保育ニーズへの対応 保育ニーズに答えるたえ、必要な受け皿を整備した。 待機児童数 R2：54名 R3：0名 R4：9名 R5：82名 R3 守山幼稚園を認定こども園化（80人） 小規模保育所5か所（95人）の開設の開設 R4 洛和みずのさと保育園の開設（60人） R6 よしみ乳児保育園（55人） 小規模保育所1か所（19人）の開設</p>	<p>特に1～2歳についてニーズが高く、受け皿となる保育施設が不足している。</p>	<p>人口推計、ニーズ調査等から必要な受け皿となる保育施設の整備量等を検討・整備していく。</p>
<p>●保育人材の確保 待機児童の解消を図ることを目的に、課題となっている保育士確保や定着化を進めていくため、処遇改善等を行った。 R2 保育士等確保事業費補助金の創設 R5 新規採用保育士等臨時給付金の拡充 保育士等奨学金返還支援事業費補助金の拡充 保育士インセンティブ交付金の創設 保育士保育料半額補助の創設 等 R6 保育士の市単独処遇改善「もりやま手当」創設</p>	<p>保育士の確保や定着化が厳しい状況のなかで、長く続けられる取組の一つとして、処遇改善に取り組み、民間園においてはR6年度には制度の拡充に努めた。しかしながら、給与面の処遇改善だけではなく、労働環境等の処遇改善も必要。</p>	<p>現状の取り組みを継続する中、保育士の確保とケアを実施し、定着化を図る。</p>
<p>●放課後児童健全育成事業 放課後児童クラブについては、登録児童が定員を超えながら受入れを行っているクラブもあること等を踏まえ、既存施設の活用、施設整備などを進めた。 R2 21支援単位（1,248人）、R3 23支援単位（1,320人） R4 24支援単位（1,360人）、R5 25支援単位（1,400人） R6 26支援単位（1,440人）</p>	<p>児童クラブの整備を行い、着実に放課後児童対策を推し進めたが、児童クラブの利用ニーズが年々上昇していることから、更なる受け皿の確保が喫緊の課題。</p>	<p>今後の利用者数を推計する中、整備計画に基づき、施設の整備等を行う。また、特に利用者が増加する長期休業期間中においては、小学校の空き教室等を活用し、児童の受入枠の拡大に努める。</p>

子ども・子育て応援プラン2020 事業量目標等の達成状況

事業名		令和5年度 (目標事業量)	令和5年度 (実施状況)
教育・保育(定員)	就学前教育【幼稚園、認定こども園 (短時部)】	1,810人	979人
	保育【保育所、認定こども園(長時 部)、地域型保育事業】	2,482人	2,423人
利用者支援事業(か所数)		1か所	1か所
時間外(延長)事業(か所数)		35か所	33か所
放課後児童健全育成事業(児クラ)(施設キャパ/か所数)		1,465人 18か所	1,465人 18か所
子育て短期支援事業(か所数)		2か所	1か所
乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問事業)(訪問数)		724人	664人
養育支援訪問事業および要保護児童対策 地域協議会その他の 者による要保護児童 等に対する支援に資 する事業	訪問事業(訪問数)	115人	2人
	代表者会議(開催回数)	2回	2回
	支援検討会議(開催回数)	12回	12回

子ども・子育て応援プラン2020 事業量目標等の達成状況

事業名		令和5年度 (目標事業量)	令和5年度 (実施状況)
地域子育て支援拠点事業 (か所数)		2 か所	2 か所
一時預かり事業 (人日)	預かり保育 (幼稚園)	16,000人	17,909人
	一時保育 (保育園)	6,000人	1,188人
病児・病後児保育事業 (人日)		1,800人	3,996人
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業) (延利用数/会員数)		2,000人 1,020人	2,278人 711人
妊婦健康診査事業 (受診者数/受診券発行者数)		8,828人 718人	7,970人 1,079人
実費徴収に係る補足給付を行う事業		10件	2件
多様な事業者の参入促進・能力活用事業 (認定こども園に 対する障害児保育事業費補助金による助成) (か所数)		4 か所	4 か所

新子育て支援拠点の整備について

- 子育て親子が気軽に立ち寄れる身近な場所として、建替中の平和堂守山店内に整備します。
- 新子育て支援拠点は、当該スペース内装のコンセプト検討・設計をこれから実施していくところですが、今般、平和堂守山店の建替えスケジュールが一部延伸となったことから以下のとおり整備スケジュールの見直しを行います。

実施時期	実施内容
令和6年6月～10月	内装工事設計業務
9月	議会（新子育て支援拠点の整備概要の説明）
12月	議会（資料および運営委託料債務負担行為）
1月～3月	運営委託業者の公募および事業者の決定
3月	議会（当初予算にて工事費、備品購入費および運営委託料等）
令和7年4月～5月	工事業者の決定
8月～10月	改修工事
11月頃	子育て支援拠点オープン（平和堂のオープンと合わせて）

